

1 郷土教育の現状と今後のあり方

郷土教育の取組例①

○ 奈良市

「世界遺産学習」

「奈良で学んだことを誇らしげに語れる子の育成」を目標に全ての学年で実施している。市内等にある文化財や伝統文化についてまとめた副読本「奈良大好き世界遺産学習」を作成しており、小学校5年生に配布し、中学校3年生まで継続使用している。また、観光ボランティアや奈良国立博物館、宮内庁正倉院事務所等と連携した現地学習やタブレット端末を活用した学習を行っている。

○ 大和郡山市

「白狐踊り」

豊臣秀長ゆかりの源九郎稻荷神社(洞泉寺町)で昭和初期から伝わる「白狐おどり」。郡山南小学校の3年生が、地域学習の一環として「白狐おどり保存会」のメンバーから「白狐囃子」と「白狐おどり」の指導を受けている。毎年春の「お城まつり」の時代行列に「白狐渡御」として参加している。

○ 天理市

『ふるさとの味にチャレンジ!』伝統料理出前授業」

市立北中学校1年生が「茶飯」「七種おあえ」「芋ぼた」の伝統料理に挑戦し、ふるさとの味を体験する。体験活動の大切さが叫ばれている今日、「ふるさとの伝統料理」の調理実習を通して、ふるさとの文化や伝統を見直し、ふるさとのよさを見つける機会とする。なお、実習は、青少年地域活動を推進することを目的とした「ふるさと運動実行委員会」の委員に指導してもらう。

○ 桜井市

「冊子『国の始まりの地 わがまち桜井』の作成」

桜井の歴史のアウトラインの紹介、小学校区ごとの歴史に関する『Q&A』により、楽しみながら、より桜井の歴史・文化に親しんでもらうことを目的に作成した。

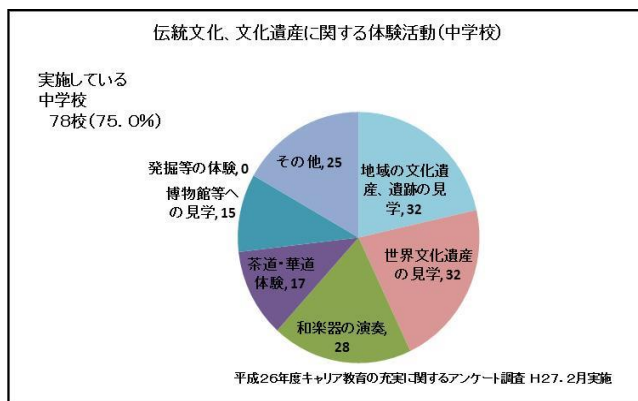
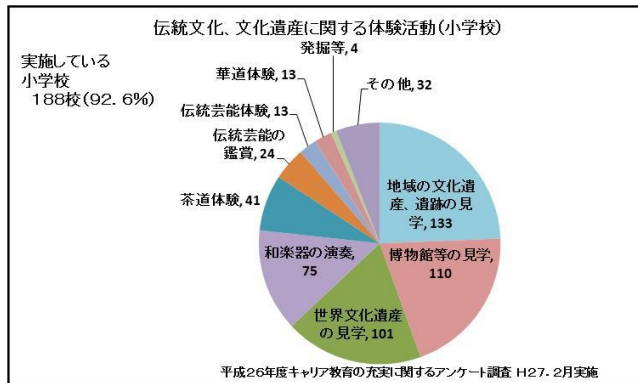
校区の『Q&A』集については、平成25年に、市内の小中学校教員の作成した『桜井の歴史発見Q&A』をもとに作成している。学校および一般市民等広く活用できる冊子として活用を計画している。

○ 五條市

「陀々堂の『子ども鬼はしり』」

五條市大津町の念仏寺に530年以上伝わる「陀々堂の鬼はしり」(重要無形民俗文化財)は、行者の扮する3匹の鬼の親子が1月14日の夕方と夜に、松明と斧などを手に本堂内を練り歩き、地域に安寧と五穀豊穡をもたらす勇壮な正月行事である。

平成18年から、校区の小・中学校の児童生徒約20人が、鬼走り保存会の行者の指導のもと練習し、同日夕方、子ども用の鬼面・松明などで大人と同じ作法を行い、地域の伝統を引き継いでいる。



1 郷土教育の現状と今後のあり方

郷土教育の取組例②

- 御所市 =「郷土の歴史・文化・伝統を学ぶ」総合的な学習の時間における取組例＝

「御所まちへ GO! (御所市立御所小学校)」

御所まちは400年前に計画的に作られた町並みで、現在もその姿をとどめている。御所小学校の5年生は総合的な学習の時間に、御所まちの歴史や御所まちを生かした町おこしについて探究する活動を通して、地域への愛着を深め、「御所小学校子ども観光課」を立ち上げ、案内マップの制作など御所まちの魅力発信に取り組んでいる。

「『氷室』再現プロジェクト(御所市立葛小学校)」

奈良県内には奈良時代から明治時代まで氷室が多数存在し、御所市内にも氷室があり、「氷室」という地名が残っている。葛小学校の5年生が総合的な学習の時間に「古代の人々の知恵に挑戦しよう」と実験を重ね、校内に再現された「葛氷室」に氷を貯蔵し、氷の保存に挑戦している。

「地域の醤油造りを通して～作ろう! 地元産マイしゅうゆ～(御所市立名柄小学校)」

名柄小学校の5年生が総合的な学習の時間に、校区内で古くから伝統的に醤油造りをしている工場で、醤油の仕込みの様子を見学し、その醤油の原料をペットボトルに一人1本ずつ分けてもらい、1年を通して醤油造りを体験する。また醤油造りに関連し、醤油や大豆の種類などについて、調べ学習をしている。

- 山添村

「伝統文化こどもフェスティバル」

山添村の貴重な民俗芸能や伝統文化を守り育てる子どもたちの発表会を毎年開催。民話、御殿万歳、子ども狂言、わらべ唄などの子ども教室がある。地域の大人たちが、故郷を誇りに思う心を育てたいとの願いで指導をし、その日頃の成果を発表する催しである。

- 平群町

「古墳めぐり・古民家めぐり」

町内にある柿塚、烏土塚、西宮などの古墳(小学校6年生)や藤田家住宅(古民家)(小学校3年生)をボランティアガイドの案内で訪れ、郷土にある史跡や文化財を知るとともに大切に守り伝えていく気持ちをもつ。

- 斑鳩町

「斑鳩小学校能楽金剛クラブ」

大和猿楽四座、坂戸座(金剛流)の発祥の地。3年生の総合的な学習の時間の取組がきっかけで、平成16年から小学校の必修クラブの一つとなり、15人前後の児童が、能の謡や仕舞などの練習に取り組んでいる。

「斑鳩西小学校茶道体験学習」

4年生の総合的な学習の時間の取組として、斑鳩町内の茶道サークル「和慶会」による茶道の体験学習を行っている。茶道の指導を通して落ち着いて物事に取り組む姿勢や、我が国の伝統文化を大切にしようとする心情などを育てている。

1 郷土教育の現状と今後のあり方

郷土教育の取組例③

- 安堵町
 - 「灯芯ひき体験教室」

町指定無形民俗文化財である「灯芯ひき」技術を若い世代にも継承していくことを目的とした取組で、小学校3年生から中学校3年生を対象に、伝統の技術を体験し、学ぶ機会としている。
 - 「こども茶道教室」

安堵町歴史民俗資料館内にある茶室「杏菴」で、日本の文化である茶道を通して、豊かな心を育む機会をもたせることを目的に取り組んでいる。また、資料館を訪れてもらうことにより、地域の歴史などを知ってもらう機会にもしている。
- 川西町
 - 「鞍馬天狗や竹生島などの能を5年生が舞台発表」

校区が観世流の能の発祥の地である。川西小学校の4年生が半年間、大阪にある能楽協会の協力を得て能の練習に取り組んでいる。その成果を授業参観や6年生を送る会等で発表をしている。要請に応じ、校外で発表することもある。
- 田原本町
 - 「唐古・鍵遺跡(弥生時代)の生活体験学習」

「土器・勾玉づくり」「土器の野焼き」「火熾し体験」「復元した土器を使った赤米炊飯」「脱穀作業」を小学校6年生全員が、「唐古・鍵遺跡の保存と活用をする会」と町文化財保存課の協力で体験し、5小学校合同で製作作品等の発表展示会を実施している。
 - 「田原本ふるさとかるた」

田原本町にある有名な遺跡や伝統ある社寺、伝統行事などを題材にした「田原本ふるさとかるた」を全小学生に配布している。小学校の郷土学習で活用するとともに、田原本町記紀・万葉事業実行委員会主催の「新春田原本ふるさとかるた大会」に5小学校の児童が参加している。
- 曾爾村
 - 「曾爾の獅子舞」

曾爾の獅子舞は、300年の歴史があり、昭和54年には奈良県無形民俗文化財に指定されている。曾爾中学校では、総合的な学習の時間「ふるさとタイム」で奉舞会の方から指導を受けて練習に取り組んでいる。毎年、秋に開催する「郷土芸能発表会」で披露している。
- 明日香村
 - 「明日香村伝承芸能保存会『明日香の響保存会』」

八雲琴は、二絃琴ともいい、古事記にも記されている。江戸時代に再興され、全国に広まったものである。10名程度の小・中学生が週1回、練習に参加している。中学校の郷土学習「明日香学」にも、八雲琴を取り入れている。
 - 「明日香村伝承芸能保存会『南無天踊り』」

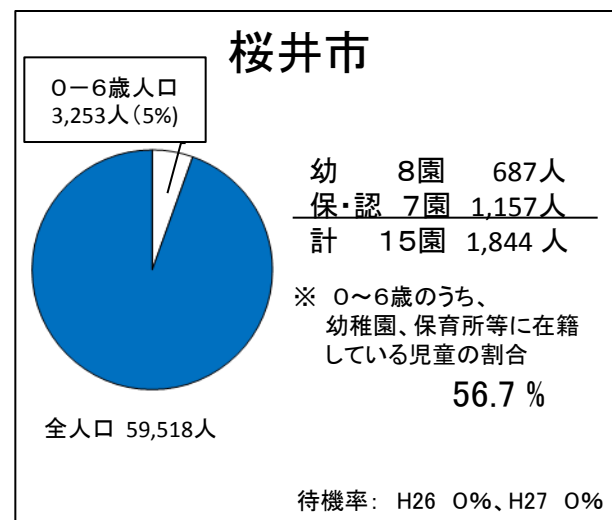
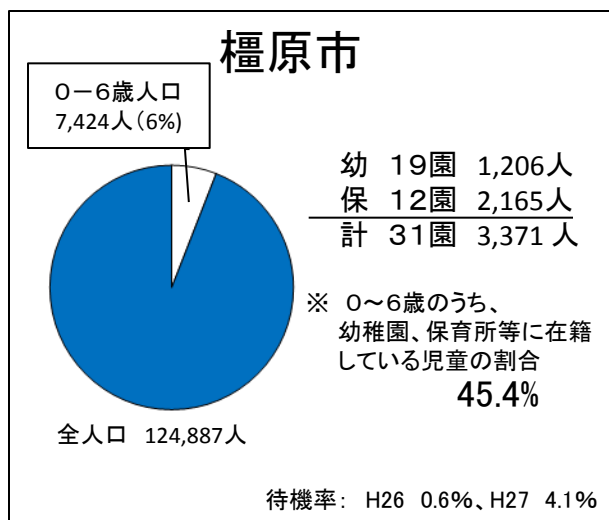
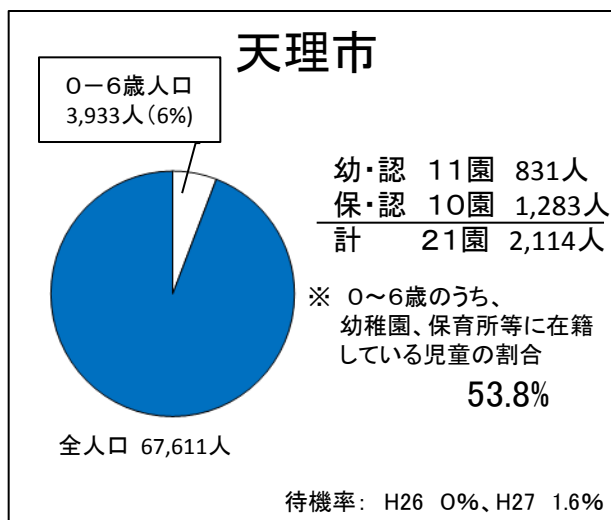
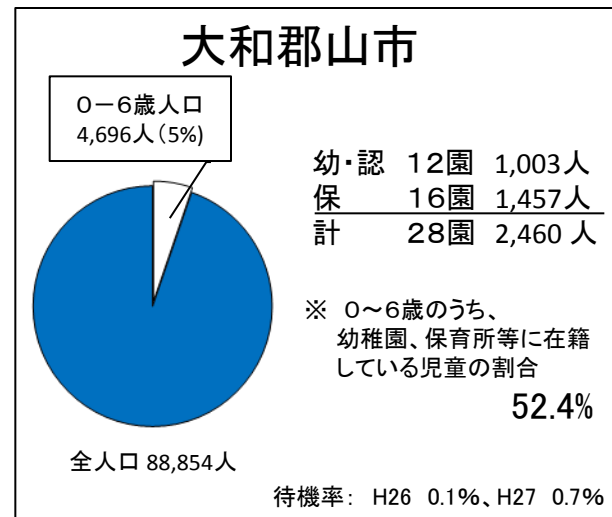
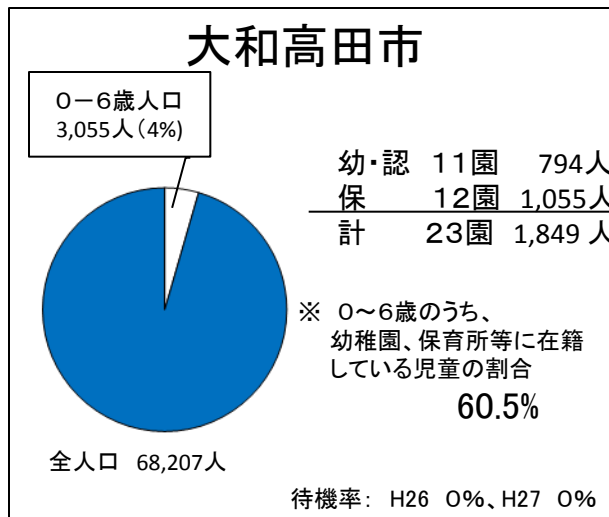
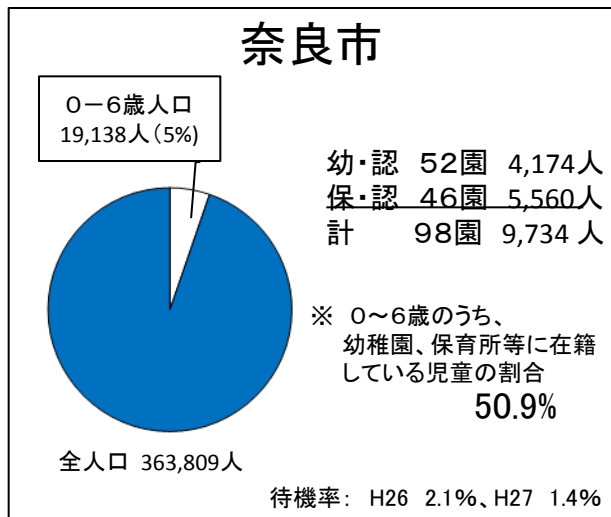
民俗文化財に対する組織の高揚を図り、伝承者の養成、南無天踊りの振興及び歴史的風土の保存を広く啓発している。幼稚園・小学校において南無天踊りの紹介を行っている。また、小学校3・4年生は、運動会で南無天踊りを取り入れた踊りを行っている。伝承芸能保存会クラブの南無天踊りには、小学生が一人参加している。

1 郷土教育の現状と今後のあり方

郷土教育の取組例④

- 吉野町
「漉いた和紙の卒業証書—吉野北小学校」
同校の6年生は、原料の楮を育てるところから、職人さんの指導のもと「紙漉き」「乾燥」などの一連の作業を自分たちで行い、手作りの和紙の卒業証書を作成している。同校校区にある国栖地区は、歴史ある紙漉きの里で、同校で約40年間続いている取組である。
「桜育成の取組—吉野小学校」
吉野山の神木である桜の学習として、さくらんぼを拾い、それを校内の桜畑で苗にして、6年生が卒業時に吉野山へ記念植樹を行っている。吉野山保勝会の指導を受けながら、全校児童がこの活動に関わりをもち、桜を守り育てる取組を続けている。
- 大淀町
「ちびっ子桧垣本座」
町にかつて存在した能楽の囃子のルーツとされる桧垣本猿楽座を町独自の文化財産として育み継承するため、平成14年6月、小鼓方大倉流宗家・大倉源治郎師の監修により創座した。現在、幼稚園から高校生までの9名が、謡、すり足、能面、お道具(笛、小鼓、大鼓、太鼓)の体験と能楽鑑賞、そして、演目の習得と交流発表会のため、連吟(みんなで謡う)、仕舞(舞と謡)、舞囃子(舞とお道具と謡)、連調(複数の太鼓と謡)の練習に取り組んでいる。
- 下市町
「下市初市『子どもみこし』への参加」
下市町には、400年以上続いている「初市」がある。この行事の歴史を知り、確実に継承していくために、下市幼稚園児、下市小学校児童が園・学校ぐるみで「子どもみこし」に参加している。子どもたちは、地域の伝統行事について学びながら、参加する喜びを感じている。
- 天川村
「花供入峯(はなくにゅうぶ)見学」
役行者によって大峯山が開山されて以来、山岳修験道の根本道場として栄えてきた天川村。毎年、修行者たちが大峯山への登拝修行「花供入峯」という行事が行われ、山伏姿の人々を中心にホラ貝を吹き、行列となって洞川地区を練り歩く。その修行者たちを小学生、中学生も地域の方とともに出迎えることを通して郷土の歴史、文化、伝統を学ぶ機会としている。
- 野迫川村
「史跡 熊野参詣道小辺路を歩く」
小学校児童は、春の遠足で小辺路を歩く。和歌山県高野町から熊野本宮に至る約70kmの街道の中で、隣接する高野町から野迫川村内終点地の伯母子峠までの約23kmの距離を3区間に分けて歩く。街道沿いの住居跡や石像を目の当たりにし、歴史や文化的な景観に触れ、保全の意義について学ぶ。
- 十津川村
「伝統芸能(獅子神楽)」
村立西川第一小学校の児童が地域に伝えられてきた獅子神楽を上級生から下級生へ指導し、技を継承している。毎週練習時間を設けて横笛、太鼓、獅子舞などの練習に取り組みしており、運動会や村文化祭での発表、地元の川合神社での奉納を行っている。
- 川上村
「『かみせタイム』『紅葉祭』発表会」
川上村の偉人造林王「土倉庄三郎」や無形文化財「御朝拜式」、「やまびこ太鼓」、昔から伝わる遊びなどを、地域の人たちから教えていただいたり学習したりしている。その成果を、「学習発表会」や「文化祭」等で発表している。

2 就学前教育の現状と今後のあり方 就学前の状況①

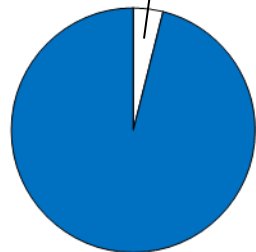


2 就学前教育の現状と今後のあり方 就学前の状況②

五條市

0-6歳人口
1,310人(4%)

幼 2園 100人
保 10園 663人
計 12園 763人



※ 0~6歳のうち、
幼稚園、保育所等に在籍
している児童の割合

58.2%

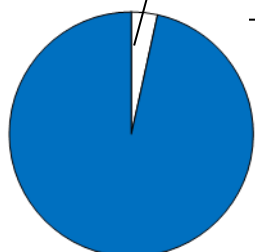
全人口 33,283 人

待機率: H26 0%、H27 0%

御所市

0-6歳人口
972人(3%)

幼 4園 221人
保 9園 427人
計 13園 648人



※ 0~6歳のうち、
幼稚園、保育所等に在籍
している児童の割合

66.7%

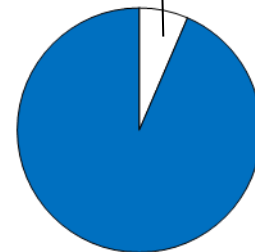
全人口 28,128 人

待機率: H26 0%、H27 0%

生駒市

0-6歳人口
7,838人(6%)

幼 13園 2,186人
保 17園 2,068人
計 30園 4,254人



※ 0~6歳のうち、
幼稚園、保育所等に在籍
している児童の割合

54.3%

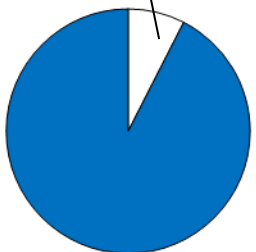
全人口 121,057 人

待機率: H26 2.8%、H27 1.8%

香芝市

0-6歳人口
5,889人(8%)

幼 11園 1,140人
保 11園 1,689人
計 22園 2,829人



※ 0~6歳のうち、
幼稚園、保育所等に在籍
している児童の割合

48.0%

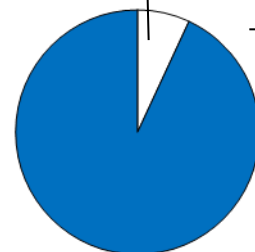
全人口 78,250 人

待機率: H26 0.2%、H27 0.4%

葛城市

0-6歳人口
2,567人(7%)

幼 5園 442人
保 6園 813人
計 11園 1,255人



※ 0~6歳のうち、
幼稚園、保育所等に在籍
している児童の割合

48.9%

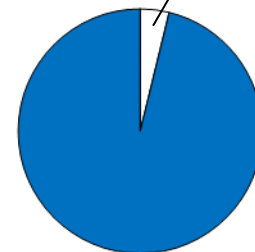
全人口 36,998 人

待機率: H26 0%、H27 0%

宇陀市

0-6歳人口
1,264人(4%)

幼 5園 321人
保 5園 330人
計 10園 651人



※ 0~6歳のうち、
幼稚園、保育所等に在籍
している児童の割合

51.5%

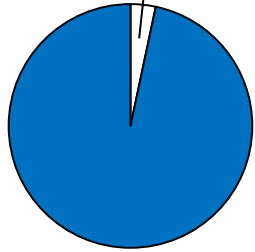
全人口 33,113 人

待機率: H26 0%、H27 0%

2 就学前教育の現状と今後のあり方 就学前の状況③

山添村

0-6歳人口
131人(3%)



全人口 3,939 人

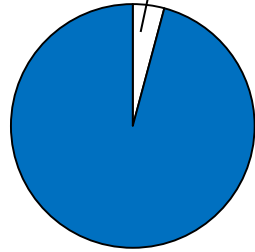
幼	0園	0人
保	0園	0人
計	0園	0人

※ 0~6歳のうち、
幼稚園、保育所等に在籍
している児童の割合
0%

待機率: H26 0%、H27 0%

平群町

0-6歳人口
812人(4%)



全人口 19,470 人

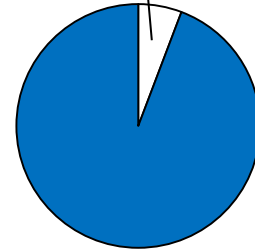
幼	2園	339人
保	2園	243人
計	4園	582人

※ 0~6歳のうち、
幼稚園、保育所等に在籍
している児童の割合
71.7%

待機率: H26 0%、H27 0%

三郷町

0-6歳人口
1,339人(6%)



全人口 23,202 人

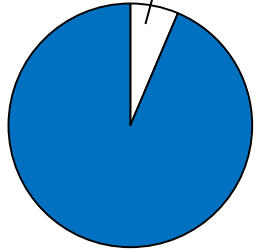
幼	3園	455人
保	4園	447人
計	7園	902人

※ 0~6歳のうち、
幼稚園、保育所等に在籍
している児童の割合
67.4%

待機率: H26 0%、H27 0%

斑鳩町

0-6歳人口
1,808人(6%)



全人口 28,318 人

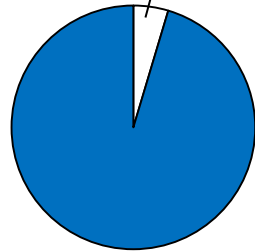
幼	4園	605人
保	2園	431人
計	6園	1036人

※ 0~6歳のうち、
幼稚園、保育所等に在籍
している児童の割合
57.3%

待機率: H26 0.2%、H27 0%

安堵町

0-6歳人口
359人(5%)



全人口 7,765 人

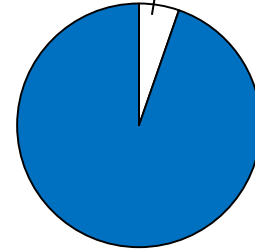
幼	1園	42人
保	1園	146人
計	2園	188人

※ 0~6歳のうち、
幼稚園、保育所等に在籍
している児童の割合
52.4%

待機率: H26 0%、H27 0%

川西町

0-6歳人口
467人(5%)



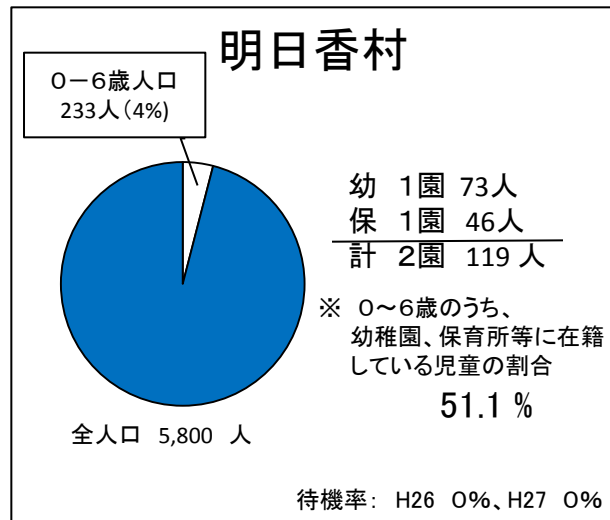
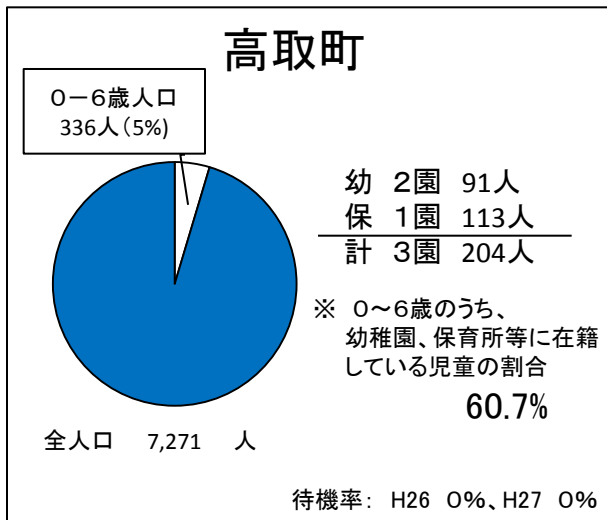
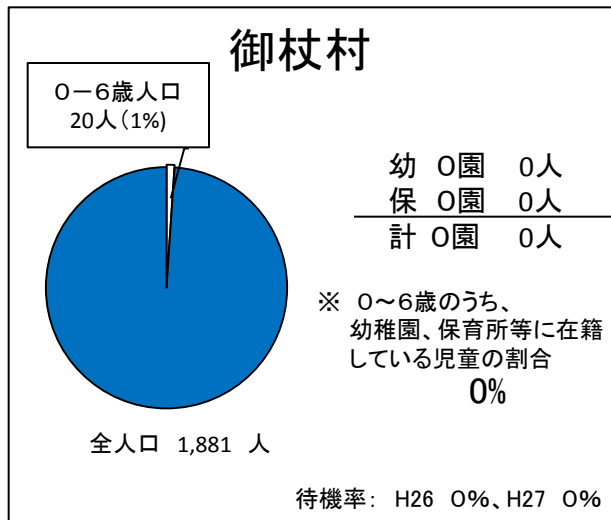
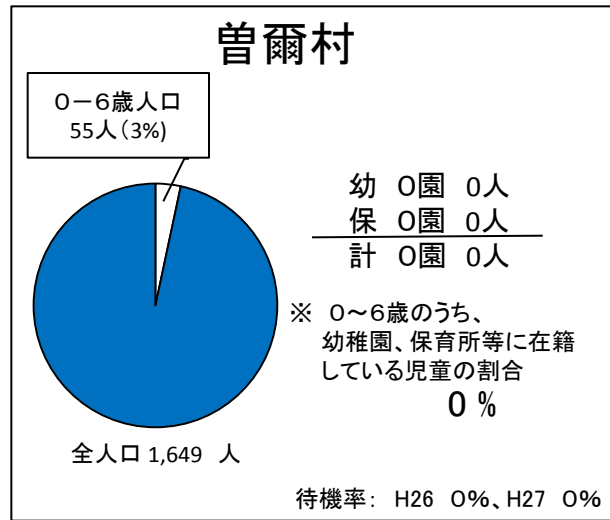
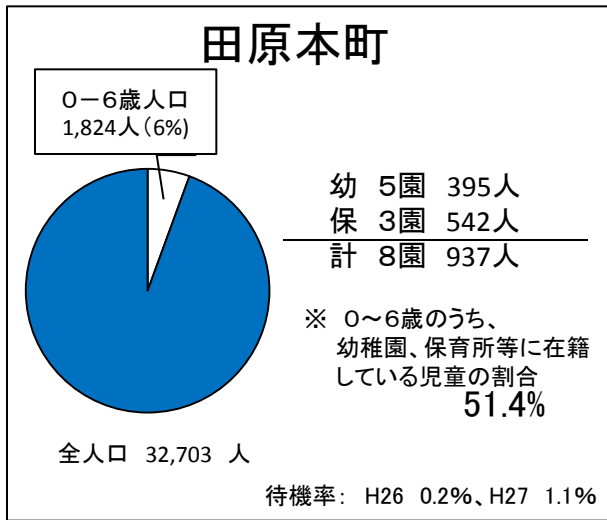
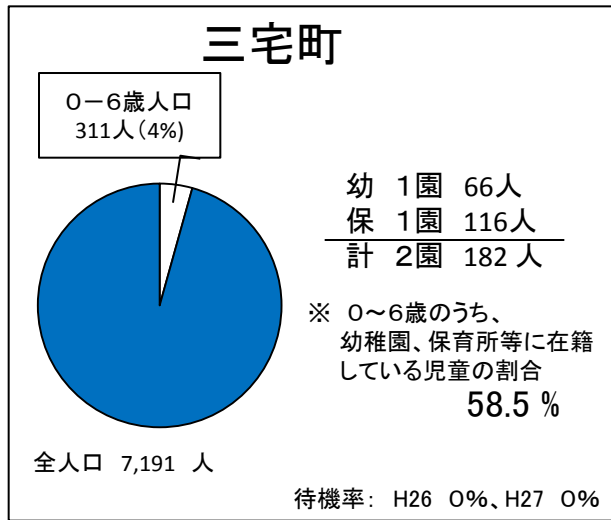
全人口 8,784 人

幼	1園	104人
保	1園	137人
計	2園	241人

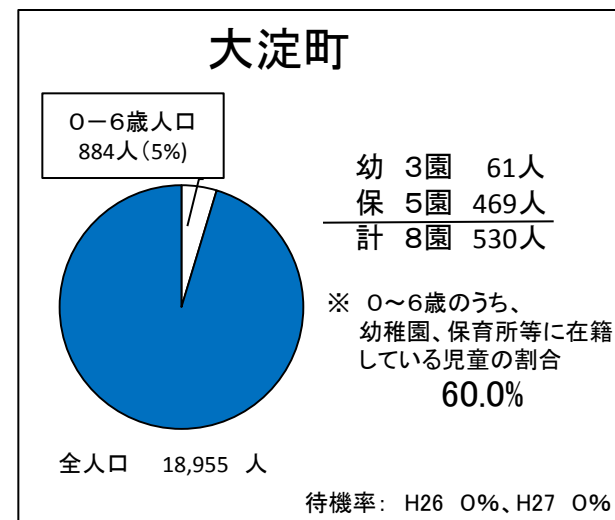
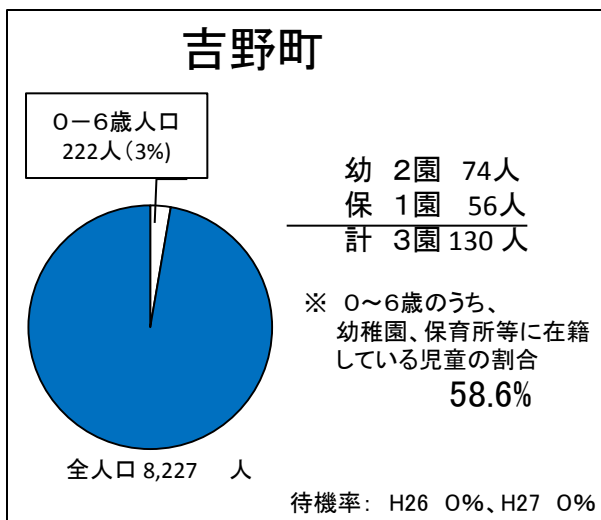
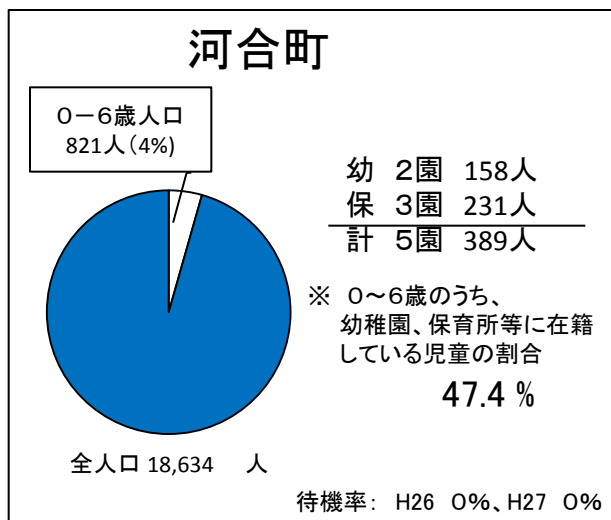
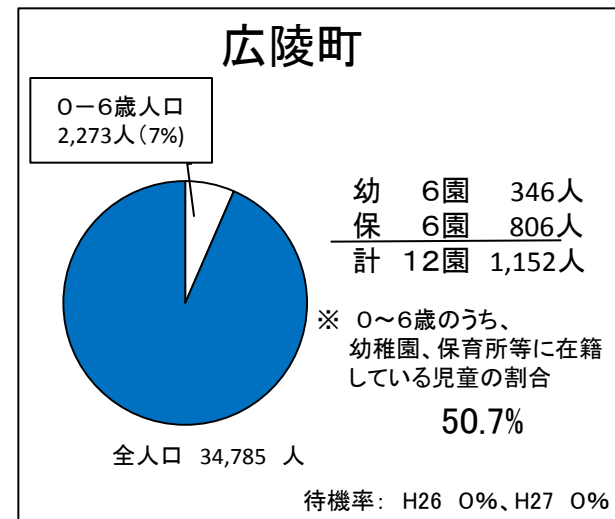
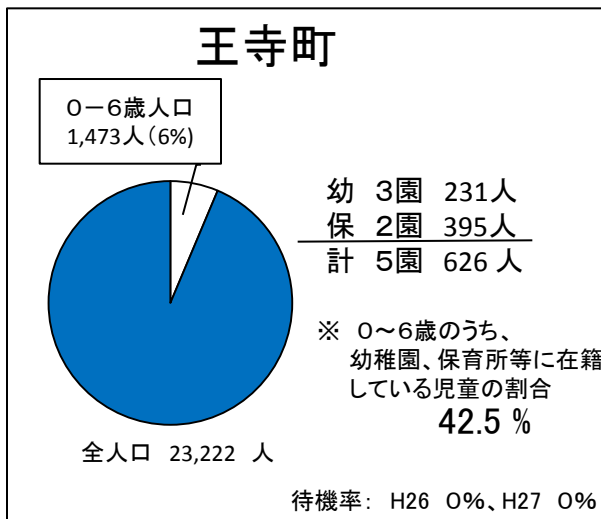
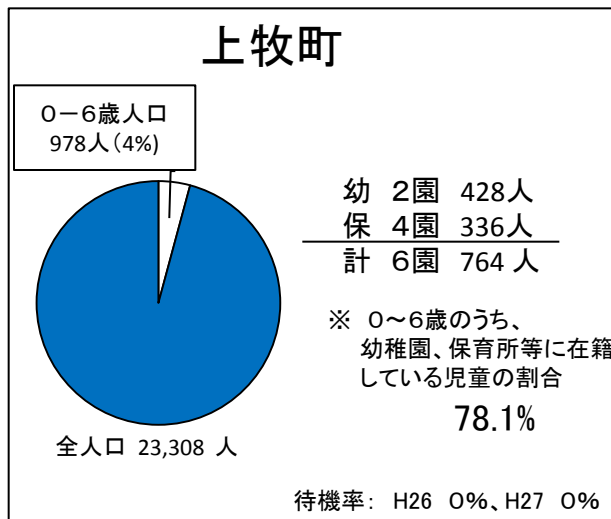
※ 0~6歳のうち、
幼稚園、保育所等に在籍
している児童の割合
51.6%

待機率: H26 0%、H27 0%

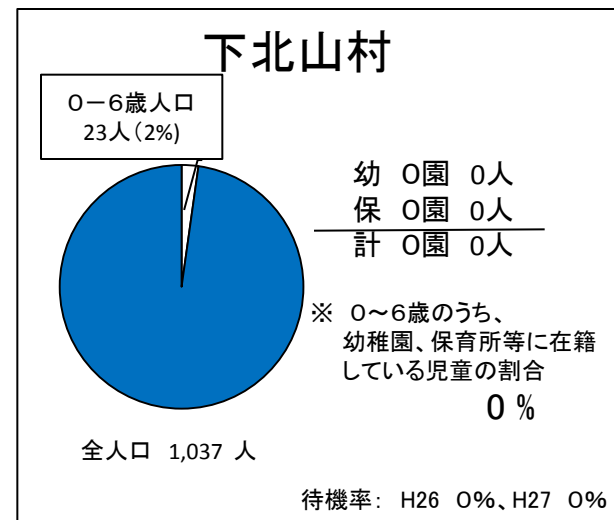
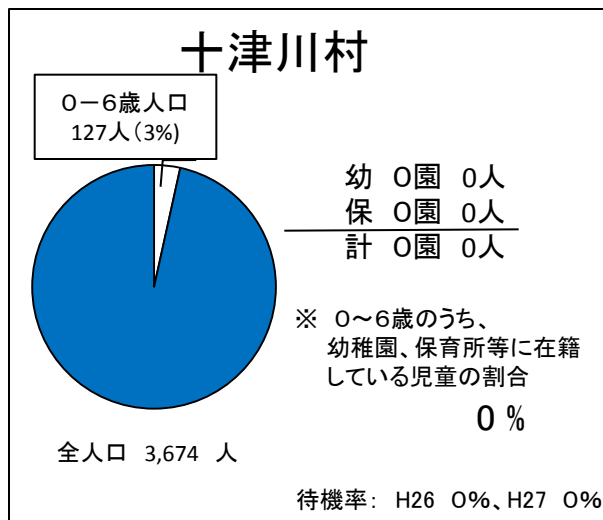
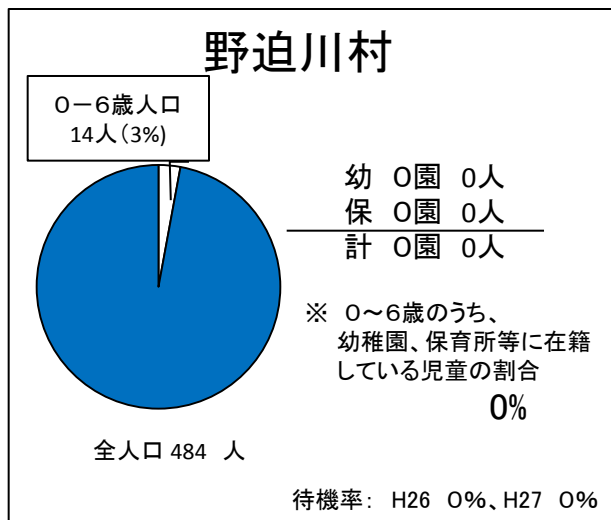
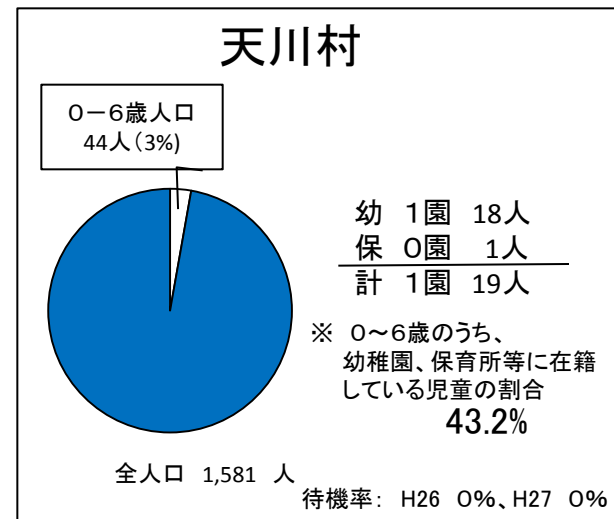
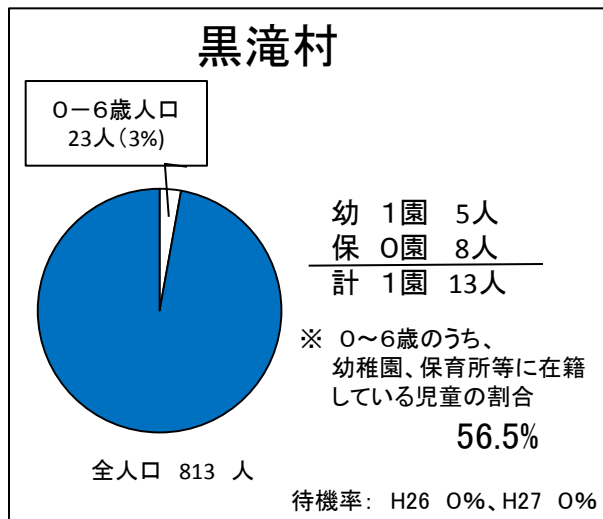
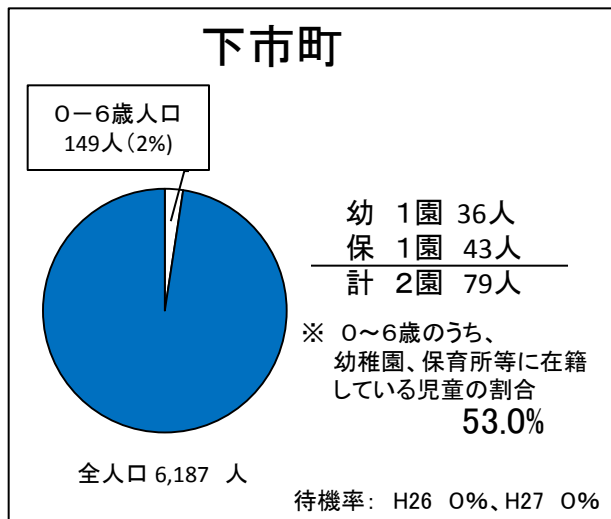
2 就学前教育の現状と今後のあり方 就学前の状況④



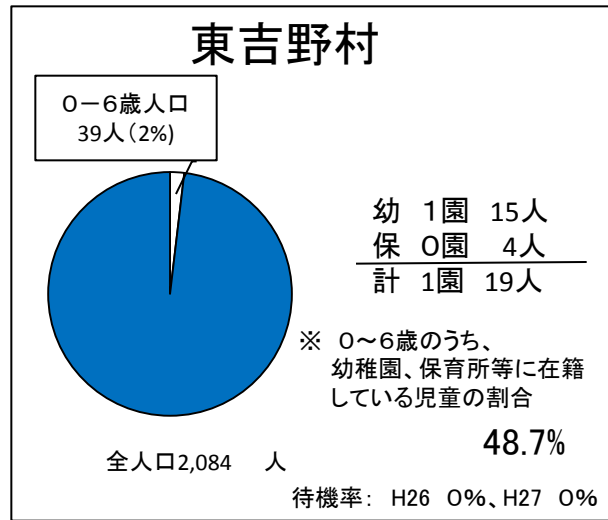
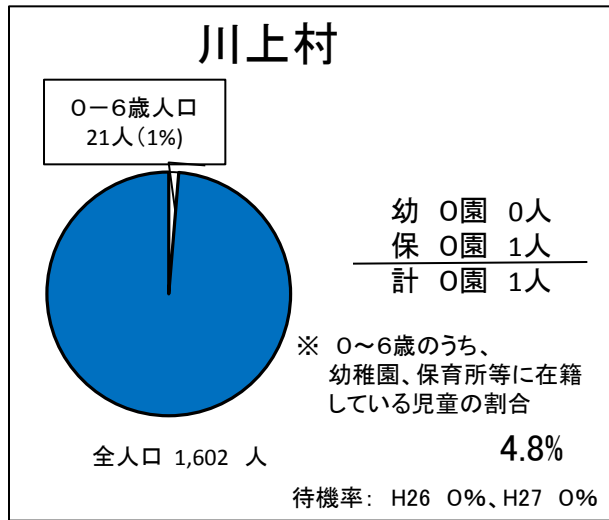
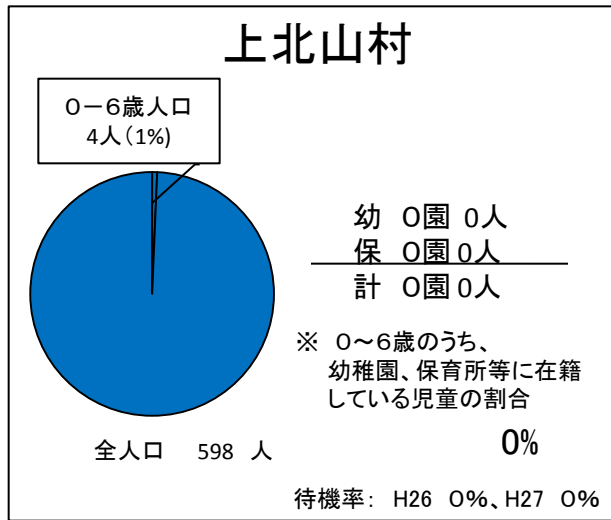
2 就学前教育の現状と今後のあり方 就学前の状況⑤



2 就学前教育の現状と今後のあり方 就学前の状況⑥



2 就学前教育の現状と今後のあり方 就学前の状況⑦

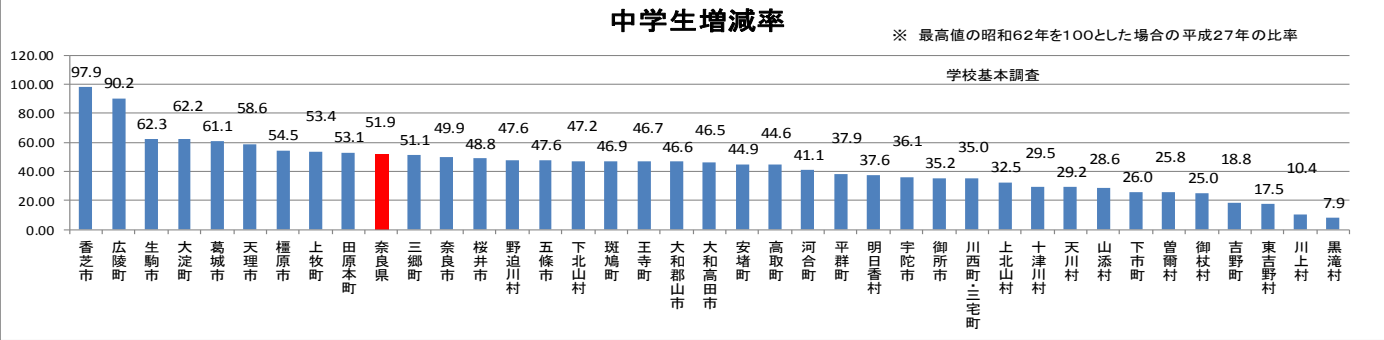
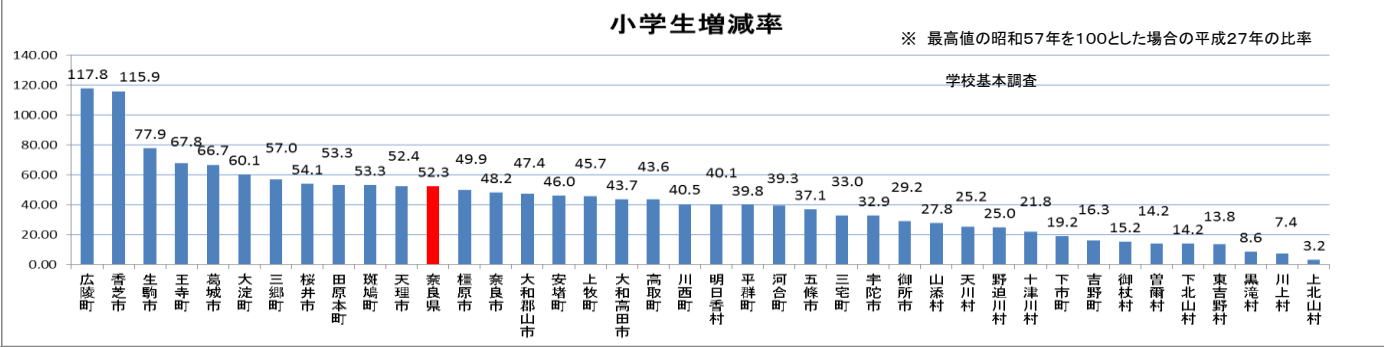
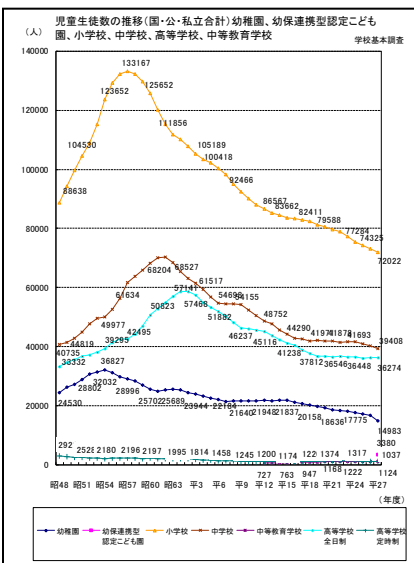


- ※ 幼稚園の人数は、平成26年5月1日の人数
- ※ 保育所の人数は、平成26年4月1日の人数
- ※ 認定こども園は、認定こども園の区分により、幼稚園または保育所に計上しています。
- ※ 待機率は、平成26年4月1日、平成27年4月1日の保育所入所待機率
- ※ 全人口、0-6歳人口は、平成26年10月1日の住民基本台帳の人数

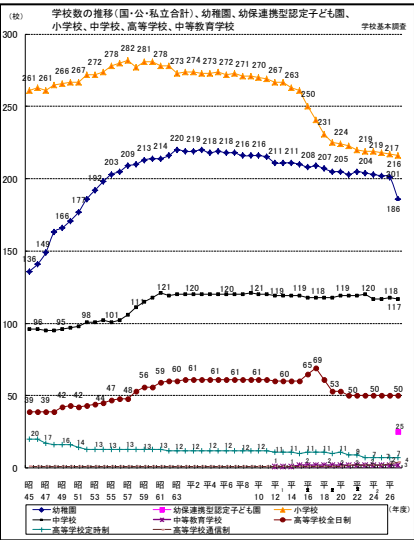
出典: 学校基本調査(文部科学省)、福祉行政報告例(厚生労働省)、奈良県子育て支援課

3 人口減少等を踏まえた小・中学校、地域との連携のあり方等

① 児童生徒数の増減



② 学校数の増減



市町村名	小学校			中学校		
	S57	H27	増減率	S62	H27	増減率
田原本町	5	5	100.0	2	2	100.0
曽爾村	2	1	50.0	1	1	100.0
御杖村	5	1	20.0	1	1	100.0
高取町	2	1	50.0	1	1	100.0
明日香村	1	1	100.0	1	1	100.0
上牧町	2	3	150.0	2	2	100.0
王寺町	2	3	150.0	2	2	100.0
広陵町	3	5	166.7	2	2	100.0
河合町	3	3	100.0	2	2	100.0
吉野町	6	2	33.3	1	1	100.0
大淀町	4	3	75.0	1	1	100.0
下市町	6	1	16.7	1	1	100.0
黒滝村	2	1	50.0	1	1	100.0
天川村	3	1	33.3	2	2	100.0
野迫川村	5	1	20.0	1	1	100.0
十津川村	9	4	44.4	4	1	25.0
下北山村	3	1	33.3	1	1	100.0
上北山村	1	1	100.0	1	1	100.0
川上村	6	1	16.7	1	1	100.0
東吉野村	4	1	25.0	1	1	100.0
三宅町	1	1	100.0	1	1	100.0
県	264	202	76.5	109	103	94.5

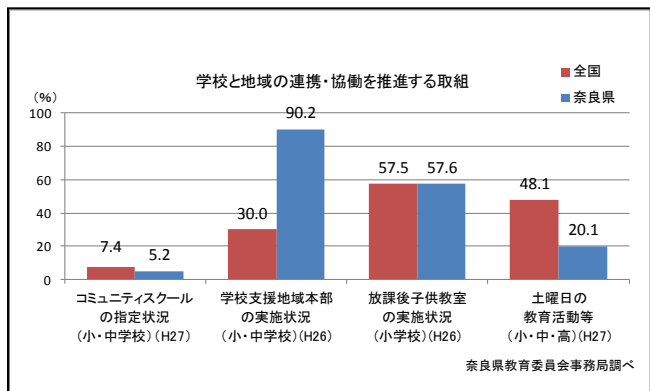
※学校数は、分校を含み、休校をのぞく。

※市町村合併により統合された市町村は、現在の市として学校数に計上している。

例)奈良市20、月ヶ瀬村1、都祁村1→S62年度は奈良市22校と表示

3 人口減少等を踏まえた小・中学校、地域との連携のあり方等

③ 学校と地域の連携・協働を推進する取組の状況



市町村名	コミュニティ・スクール(H27)		学校支援(H26小中)※		放課後(H26小)※	土曜日(H27)		
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	小学校	中学校	高等学校
県立							1	19
奈良市	7	4	47	22	47			
大和高田市			7	3	7	8	3	
大和郡山市			11	5	11			
天理市			9	4		2	3	
橿原市			16	6	3		1	
桜井市			11	4				
五條市			8	5	8			
御所市			7	4		7	4	
生駒市			12	8	3			
香芝市			10	4	6	1		
葛城市	5		5	2				
宇陀市			7	4	7			1
山添村			1	1				
平群町			3	1	3			
三郷町			2	1	2	2	1	
斑鳩町			3	2	3			
安堵町			1	1	1			
川西町			1	1	1	1		
三宅町			1		1			
田原本町			5	2	5			
曾爾村								
御杖村			1	1	1			
高取町								
明日香村			1	1		1	1	
上牧町			3	2			2	
王寺町			3	2	1	3	2	
広陵町			5		5			
河合町			2		1	1		
吉野町						2		
大淀町			3	1				
下市町			1					
黒滝村								
天川村				2			2	
野迫川村								
十津川村								
下北山村			1		1			
上北山村								
川上村								
東吉野村			1					
	12	4	188	89	117	28	21	19
	16		277				68	
	5.20%		90.2%		57.6%		20.1%	

(※) この項目のデータは、「奈良県学校・地域パートナーシップ事業(県)」及び「地域で決める学校予算事業(奈良市)」の事業実施校をもとに集計しています。